

祖母懷 市長と地域との懇談会

日 時：令和 6 年 10 月 2 日（水）
午後 7 時から午後 8 時 15 分まで
場 所：祖母懷公民館
参加者：15 名
（他 オブザーバー：伊藤自治連合会長）

【内 容】

市からの報告 テーマ：ごみの減量について

- ・プラスチック・剪定枝・ミックスペーパーなどの分別が着実に進み、燃えるゴミが減少し、晴丘センターの負荷が減少した。
- ・剪定枝の分別が進み、市民の皆さんにとって出しやすい方法や時期等についても再検討する予定。
- ・燃えるごみの量が減ったが、ごみ全体の総量では前年から 3 % 程の減少と大きく減っていないため、家庭から出るごみの量の削減に取り組んでいきたい。
- ・家庭から出るごみの中で一番多い調理くず、食べ残し、手付かずにそのまま捨ててしまう食料品などのフードロスの削減に取り組み、ごみの総量の削減に協力いただきたい。

市からの報告 テーマ：下水道料金の値上げについて

- ・下水道事業は公営企業であり、本来は受益者負担で経営が求められるところ、汚水を処理する費用の約 6 5 % しか使用料で賄えていない。
- ・残りの 35 % は税金で補填している現状であり、下水道を利用していない方の税も含まれている。
- ・下水道料金の料金を 24 年ぶりに改定し、尾張旭市、長久手市と同水準の経費回収率 80 % となる予定である。
- ・将来的には 100 % 受益者負担での運営を目指していきたい。

市からの報告 テーマ：市制 100 周年に向けて

- ・今年度は市制 95 周年であり、改めて瀬戸の歴史と伝統の偉大さを感じたところ。
- ・今年度は来年開催される国際芸術祭あいちのプレイベントも開催される。
- ・来年は、国際芸術祭あいちや愛知万博 20 周年記念事業が開催され、さらなる賑わいが期待される。市としても県と連携して取り組んでいく。
- ・瀬戸市制 100 周年を迎えるに当たり、カウントダウンにつながる取組みを進め

ていく。

地域の課題：旧祖母懐小学校 跡地活用について

- ・跡地東側の道路拡幅が、宅地造成が始まる前までに完成しているとよい。
- ・当初案のとおり保育園を移転するならば、新しい住民が居住してくる前に情報提供をしておいた方が、後々の騒音トラブル等の防止につながるのではないかな。
- ・交通量の増加が懸念されるため、国道 155 号線とつながる道路の拡幅をしてほしい。
- ・安全確保のため、跡地前の道路への宅地造成工事車両等の通行を禁止してほしい。難しいのであれば、通行許可証を発行し、限られた車のみの通行としてほしい。
- ・上ノ切交差点へつながる道路の交通量が増える可能性がある。道路幅が必要となるので対策を検討してほしい。
- ・今後の跡地活用（将来活用検討ゾーン）については、地域としっかり協議をしたうえで進めてほしい。
- ・道路の問題は、にじの丘学園開校前から要望していた。協議事項は自治会長の承認のうえ進めてほしい。
- ・将来活用検討ゾーンに保育園が移転しない場合は、避難場所として活用できる地域の集会所の建設をしてほしい。
- ・公園を設置する場合には、トイレの設置を検討してほしい。
- ・東保育園横の道路については、子どもたちもよく利用している。安全確保のため通行可能な車両（地域住民に限る等）の設定を検討してはどうか。

地域の課題：その他

（避難場所として学校体育館等へのエアコンの設置について）

- ・にじの丘学園の体育館へエアコンを設置してほしい。
- ・市の体育館にもエアコンを設置してほしい。

（にじの丘学園通学路について）

- ・塩草町西側のバス停へ屋根をつけてほしい。
- ・公民館前の橋に子どもたち専用の橋を新たに設置し、通学バスとの事故がないようにしてほしい。

（ごみ集積所の拡充について）

- ・高齢者が増加し、ごみ集積所に行くまでに道路を横断しなくてはならず、危険な箇所が多い。集積所を増設してほしい。

- 資源ごみの集積所が少ないため、場所によっては道路に散乱していることがある。燃えるゴミの集積所に、資源ごみを出せるようにしてほしい。